

# 放課後等デイサービス キッズボンド垂井 自己評価表

調査機関：令和7年1月4日～令和7年1月31日 回答職員数：7名

2024年度版

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2	0	安全に活動できるように支援内容に合わせて随時、時間や空間を仕切り、環境調整をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	1	0	有資格者の人員配置を満たすよう勤務形態一覧表を作成している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3	2	訓練室・学習室・トイレまではバリアフリーになっているが、段差のある玄関は必要に応じて手を添えたりしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	0	0	ミーティングや職員会議では事前に課題を設定して話し合える機会を持ち、内容は記録を取って全員に回覧している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	評価表配布の他、保護者の教室への要望に耳を傾け対応できるよう努めているが、中間時期にアンケート調査を実施していきたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	ホームページに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	7	外部評価は、現在行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	オンライン研修、実地研修など定期的に社内研修や専門職による研修を受講し、全職員で共有している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	保護者と相談支援事業所とのモニタリングをもとに、アセスメントの結果を個別支援計画に反映させ、SVを受けて作成している。
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	0	キッズボンドグループで共通のASIST、Vineland-IIを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0	原案を担当者が決め、職員で話し合って具体的な内容を決定していく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	0	子どもの発達段階や、興味関心に合った活動を計画するよう努めているが、題材研究をする時間を確保していくことが課題である。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1	0	平日と休日では支援内容を変えている。また、長期休暇は季節感のある題材やイベントを設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	支援計画やその日の利用児に合った個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	受け入れ前ミーティングを実施し、議事録を通字で支援前に全職員が支援内容や利用児の状況、役割分担を確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	4	0	振り返りや伝達事項は職員間で報告し合い、翌日の受け入れ前ミーティングで改めて周知するようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	個々の目標に沿った有効な支援の手立てや活動内容の記録がとれるよう記録用紙に支援目標を表記している。PDCAサイクルに記録を活用している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	原則、6か月に一度モニタリングを行っている。必要があれば前倒しで実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1	0	支援プログラムをもとに様々な領域を組み合わせた支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	0	サービス担当者会議が実施された場合、児童発達支援管理責任者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1	0	学校との情報共有や連絡調整は必要に応じ電話や文書のやり取りで行っているが、トラブル発生時や相談時には速やかに学校に出向いている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	1	1	当時業所では、現在医療ケアを必要とする児童は在籍していない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	0	連絡は取り合っていないが、移行時に引き継がれる「すくすく（垂井町）」「スマイルブック（大垣市）」などの支援記録を共有している。今後は、園訪問などを計画していきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	0	1	学校を卒業し、障害福祉サービス事業所等へ移行する児童は、現在在籍していない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	2	センター等の専門機関との連携はできていないため、今後行っていきたい。保護者を通じて情報提供を受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	5	現在のところ、計画的な交流がないため、今後取り組んでいきたい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7	0	0	地域の自立支援協議会に参加して意見交流や情報交流をしている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	保護者との面談や、日々の電話、LINEでのやり取り、送迎時の対話を通じて共通理解を図っている。

	⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1	1	随時、親子のより良い関係への相談支援やレスパイトケアを行っているが、集団向けのプログラムとしては、今後の課題としていきたい。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	契約時に重要事項説明書に沿って、丁寧な説明を行い、書類を掲示している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	事業所で相談に応じる他、必要と思われる時には家庭訪問をして傾聴や助言を行っている。相談支援事業所とも連携している。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	3	保護者会開催が実現できるよう、年間計画を作成していきたい。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	苦情や要望があった場合には、担当職員が管理者に報告し保護者面談をするなど速やかかつ適切な対応をとっている。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	毎月「通信」や「活動予定表」を配布し、SNS（Facebook、インスタグラム）を通じて毎日の活動の様子を発信している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	書類は鍵付書庫で保管し、配布物やSNS上の写真には保護者の同意を得た上で、顔や名前にモザイクをかけている。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1	0	ジェスチャーを交えて曖昧な表現は使わないよう端的に話しかけ、保護者にはLINEなどで可視化し、内容を確認できるよう配慮している。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	1	4	地域住民が参加できるイベントは実施していない。今後の課題といえる。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1	0	書類を作成し周知できるよう掲示している。職員間で、マニュアルをもとに場面を想定したシミュレーションを行っている。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	年間計画のもと、毎月様々な災害を想定した避難訓練を実施している。垂井東消防署で消火訓練を受けたり、年度末には岐阜県広域防災センターを見学したりして子ども達と災害時の疑似体験を予定している。
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	虐待防止委員会を年4回実施し、虐待防止研修を受けている。小さな出来事を挙げ職員会議で対応について話し合っている。
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1	0	身体拘束委員会を年4回実施し、身体拘束における研修を受けている。保護者には契約時にやむを得ず身体拘束を行う場合の説明を行い、同意を得ている。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	0	医師の指示にもとづき、保護者より詳しい説明を受け対応している。接触や誤飲を防ぐための環境調整を行い、エピペンを預かっている児童もいる。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	0	ヒヤリハット事例が発生した時には報告書を作成し、ミーティングで対応策を話し合い周知している。また、他教室の事例も共有して事故防止に努めている。